

みんなの広場

ぼくとわたしの

夢

新冠小学校6年生です



私は、絵をかくのが得意なので絵に関わる仕事がしたいです。あと歌う事が好きなので歌い手になりたいです。
山岡 莉緒



ぼくはプロ野球選手になりたいです。野球で日本一と三冠王になって活躍したいと思っています。
山口 陽大



私は、海外に行って、友達と暮らしたいです。あと音楽に関わる仕事がしたいです。
柳澤 那奈

新冠百話

第七十五話 「新冠川の滝の主（伝説）」

（解説含む）

新冠川の上流に一つの滝がある。この辺りを支配している神はカワウソであると言われていて、ここには昔、豊漁を祈願する人たちの祭壇（さいだん）があったとされている。また、この滝の滝つぼは地の底まで続いており、地獄穴になつていとも伝えられている。それは、滝の上流からは川の水量が多く、滝の下流の方がかえって水が少ないということが知られており、その昔、大きな鹿がこの滝つぼに落ちたまま上がることができずにいたとき、それが土の下をくぐって海浜の方へ上がったという言い伝えが残されているからだ。そのため、アイヌ民族は洪水のとき、カワウソの神様に向かってあふれかえった水を土の下にくぐらせて下さいと頼む。すると、川の水は洪水にならないで済むということである。

【解説】
○新冠川の上流で、最も奥の地域を「岩清水」といいます。昭和29年の新冠字地名改正のときに名付けられました。地名のごとく、日高山脈を形成する岩場に、流量豊かできれいな川水が流れ、美しい渓谷の風景が広がっている場所



岩清水にあるフタツツの滝。この伝説にあらわれる滝なのだろうか…

です。この場所には、北電の水力発電施設があります

○岩清水発電所の近くに「フタツツの滝」があります。この滝の辺りを、アイヌ民族は「フツタブ」または「フツタブ」と呼んでいたことに由来しています。意味は、トド松の木が多くある所など、諸説あります。この滝は、約20メートルの落差があり、岩清水のきれいな川水を優雅に柵引く様は絶景です。今回紹介した伝説にあらわれる滝であるかは不明ですが、新冠川の上流に存在する代表的な滝となっています。

○「カワウソ」は、川の近くに住んでいたイタチ科の動物です。昔、北海道でも生息していましたが、毛皮が上質なために乱獲されたことや環境汚染等により、現在では姿を消してしまつたと考えられています。アイヌ語では「エサマン」と呼ばれ、伝説などに登場することがあります。今回のお話で登場したということは、かつては新冠にいたのかもしれない。

【取り付けていますか？住宅用火災警報器】

火災の早期発見に！
自分自身・家族の命、財産を守るために！
住宅用火災警報器を設置しましょう！
消防署新冠支署

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期			
区分	火災件数	救急件数	災害出動件数
7年1月	1件(0件)	36件(30件)	1件(1件)
6年1~12月	4件(5件)	310件(347件)	18件(30件)
交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
7年1月	0件(0件)	0人(0人)	0人(0人)
6年1~12月	6件(3件)	0人(0人)	9人(3人)

人のうごき (令和7年1月末現在)			
人口	4,982人	(前月比)	-29人
男	2,496人	(前月比)	-23人
女	2,486人	(前月比)	-6人
世帯	2,778世帯	(前月比)	-19世帯

戸籍の窓

12月6日~1月20日までの届出分 (敬称略)

- いつまでもお幸せに
工藤 紘士 ♡大野 紗依 北星町
- お誕生おめでとうございます
成田 濤央莉 (崇将 もみじ) 東 町
原 優菜 (拓弥 麻美) 北星町
上井 裕稀 (大知 かなえ) 本 町
- おくやみ申し上げます
三浦 ひさ子 88歳 緑 丘
佐々木 完 79歳 大 富
大竹 明子 70歳 本 町
後藤 佳子 68歳 東 町
本間 キクノ 82歳 北 星
山本 百合子 92歳 本 町
中川 晃 56歳 東 町
出雲 トシエ 95歳 北 星
山田 靖子 83歳 東 町
濱坂 富夫 89歳 節 婦
蜂屋 雅敏 87歳 節 婦
高瀬 良樹 83歳 朝 日
八木 功三 81歳 高 江
- お問い合わせ先
町民生活課町民生活グループ住民係
☎0146・47・2112

ふるさと探究 第9回 『新冠と等澗院』

江戸幕府は文化元年（一八〇四）、最初の仏教寺院を蝦夷地に建立します。等澗院（天台宗・様似町）、善光寺（浄土宗・伊達市有珠）、国泰寺（臨済宗・厚岸町）の3寺院で、総称して蝦夷三官寺と呼ぶことがあります。目的として在勤する役人等の葬儀・供養や邪宗門（主にキリスト教）の取締りでした。等澗院霊墓（過去帳）には新冠場所の役人、支配人、番人等の17人が記されています。

新冠会所の近くには写真に見る3基の墓標が残っています。左の方柱型には「大崎千蔵墓・天保13年（一八四三）5月12日」、中央は刻字が不明、右の櫛型には「性善院浄心湛応居士・石坂氏・安政5年（一八五六）4月1日」と刻字されています。霊墓には大崎氏は松前軽足、石坂氏は興十郎で詰合足軽です。安政3年『箱館御奉行其外詰合御役人役名書付』には石坂興十郎が記されています。

(乾 芳宏)



新冠に残る江戸時代の墓標